

北里大学医療衛生学部 半期の主なニュースと魅力を満載!!



演習を通して本物の「チーム」へと一致団結!

国際チーム医療演習 2017



「患者にとっての最善の医療とは」皆が見つめる方向はひとつです

今年度も学長助成金の支援を受け、3月2日に「国際チーム医療演習」が開催されました。そして、今回は米国(トーマスジェファソン大学)の作業療法専攻・理学療法専攻各1名に加えて、オーストラリア共和国(FHキャンパス・ウィーン)の作業療法専攻と視覚機能療法専攻各1名と、チエコ共和国(カレル大学の医学部2名)からの学生も迎え、日本を含む4カ国での演習実施となりました。

症例は昨年と同様、脳血管障害や糖尿病の模擬患者でしたが、予防医療や復職支援など、昨年とはまた異なった医療プランも多く提案され、保険制

度・社会保障などの社会的背景や、価値観・住環境などの文化的背景が、医療に与える影響を強く感じました。

一方、患者中心の医療として、患者のニーズを第一に考えること、患者の社会的役割への配慮、家族や患者の心理面へのケア、などといった点では、どの国も共通していることも実感しました。

異なる環境で生まれ育った学生同士が、一つの症例を通して様々な知識や考えを交換する中で、医療の多様性と無限の可能性を実感する機会となったのではないかと、学生達のキラキラとした笑顔に触れながら感じた演習でした。



発表では各国の医療制度についても活発な議論が展開されました

リハビリテーション学科
作業療法専攻 小児作業療法学
教授 高橋 香代子

研究費獲得について——眼から考える交通安全

この度、文部科学省より平成28年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金をいただきました



リハビリテーション学科
視覚機能療法学専攻
視能検査学
准教授

川守田 拓志

この度、文部科学省より補助金をいただきました。お力添えを賜りました学部長の北里先生、事務長の大野様をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

この補助金により、地域教育・研究用交通シミュレータシステムを購入させて頂きました。構成は、歩行者、ドライビングシミュレータ、ヴァーチャルリアリティを用いた視覚体験シミュレータです。本システムは、白内障や緑内障、高齢者視覚の疑似体験、夕方の運転時の視覚低下を体験することができます。学生が、大学と地域の連携活動に参加することで、学問の延長線上に社会貢献があり、学ぶことの意義を知るといった教育効果にもつながります。これら活動が、大学と地域交流を活発にさせ、交通安全意識を高めあうという好循環かつ相乗的な効果も期待

しています。

研究費獲得の経緯につきましては、総務課課長補佐の阿部様のお力添えが大きくありました。4年前より相模原市と交通事故多発地点の視覚要因調査を実施しており、昨年より視能評価装置を使用し、「眼から考える交



地域教育・研究用交通シミュレータシステム

通安全」という交通安全啓発活動を実施しております。最近では、田名小学校PTA主催「田名つ子フェスティバル」、相模田名高校の有志学生交通安全全隊との連携活動、相模原市「親子ふれあいの広場」、に参加致しました。このような活動が阿部様の目にとまり、お声がけいただいたことがきっかけでした。また、北里大学と相模原市とは、

包括連携協定が結ばれており、その活動の一つとなるよう申請させて頂いていただきました。

早速2月に本システムを使って相模原市大野中地区の交通安全啓発イベントに参加し、好反響をいただけたように思います。今後このチャンスを活かし、関連団体との活動を強化していきます。8月19日(土)には、就学前児童および小学生を対象とした交通安全啓発活動を実施予定です。その背景は、

交差点。10〜1月の夕方」という交通事故ハイリスクデータ。これらリスクの低減に特化し、一般の方と楽しみながら交通安全を体験・学べるイベント「つながる、見える交通安全」を実施致します。本システムの使用や相模原市を含む関係団体が多数参加する連携イベントです。もし興味がありましたらぜひお立ち寄りください。学生の皆様のボランティアも募集しています。

今後この研究費獲得を励みに、医療で利用される生体計測技術やノウハウ、学術情報を活かし、予防医学の重要性の伝達と社会問題解決を同時にアプローチする新しい地域貢献モデル構築に挑戦していきたいと思っています。



相模原市や関連団体と連携した交通安全イベントを実施予定

留学報告

Melbourne - オーストラリア オールドシテイ



基礎医学部門
病態生化学
助教
前川 達則

本稿では現在執筆者が留学しているメルボルン大学での生活を通して知った、メルボルンの魅力を紹介したいと思います。

メルボルンはシドニーに次ぐオーストラリア第二の都市で、直行便で成田から約10時間、テニス4大会の全豪オープンでも有名な地です。高層ビルと豊かな自然の中にヴィクトリア女王時代の建物が多く並び、近代的な街



街のシンボル Flinders Station



「死ぬまでに行きたい世界の図書館」にも選ばれた
ヴィクトリア州立図書館での渾身の一枚

まだまだ魅力は語り尽くせませんが、今回の旅行先にメルボルンはいかがでしょう？アンバサダーとして旅行のご相談お待ちしております。

並みの中にもヨーロッパの風格を感じることが出来ます。また世界有数のカフェ大国で、街中のオープンテラスカフェからコーヒーの香りが漂ってきます。人口の25%が外国生まれのメルボルンでは多民族文化を受け入れて発展してきた形跡が見られ、多言語での案内図や請求書に加え、多様な食文化を見ることが出来ます。日本文化も人気で、毎月のようにJapanフェスが

開かれ、ビジネスマンが手巻きずしを片手に歩く姿は日常風景です。ひとたび街を出れば広大な大地とユーカリの香りに包まれ、野生のカンガルーやコアラに出会うことも珍しくありません。

研究最前線

ロボットを使って正しい姿勢の体操でロコモを防ぐ！



リハビリテーション学科
理学療法専攻
理学療法治療学
教授
高平 尚伸

筋肉や骨、関節などの運動器に障害があるために、歩行や日常生活が困難な状態であるロコモティブシンドローム(ロコモ)。40歳以上の日本人の3人に1人が推定対象者といわれており、進行すると介護が必要になるリスクが高まることから、ロコモを予防するロコモ体操が推奨されている。

ロコモを使ってロコモ体操を指導する動きが注目された。医療用ロボットアプリを手掛けるシャンティと私の研究室が開発した「体操評価付き健康啓発ロボットシステム」である。同システムは神奈川県公募型「ロボット実証実験支援事業」に採択されており、2016年11月24日と25日に高齢者を対象にした実証実験を北里大学病院とA101とA103研究室で行った。

システムの全容は、日本整形外科学会が作成した「休まずにどの程度歩き続けられるか」などの項目について「Pepper」が対象者に問診し、簡易的にロコモティブシ



な姿勢で運動を行えるようにすることを狙っている。Kinectを用いてリアルタイムに正しい姿勢かどうかフィードバックするため、一方的な指導にならず、正しい運動を体で覚えることができるのではないだろうか。ダイエット向けの運動など用途はたくさんある。健康維持のための総合的な支援ツールになれば、と考えている。

ンドロームの度合い(ロコモ度を測定。その結果を踏まえて適切な体操を提案する。Pepperの画面上に体操の動画を表示し、人型ロボット「NAO」が実際に動くことで体操を指導する。対象者が体操する様子をMicrosoft社のジェスチャー入力デバイス「Kinect」センサーでモーション解析し、体操が適正に実施されているかを判定。正しい動きでない場合は、PepperとNAOがリアルタイムに口頭で「もっと膝を曲げてください」などの指示をし、適切な体の動きへと誘導する。通院時に一度体操を指導しても、家に帰ると忘れてしまふ体操の継続率の低さという課題の解決にも繋げて行きたい。つまり、家での運動実施率と継続率を向上させること、適切な姿勢で運動を行えるようにすることを狙っている。

新任教員紹介

医療検査学科 免疫学

教授 川村 俊彦



出身：青森市。略歴：秋田大学医学部卒業、医師免許。秋田大学小児科。秋田大学大学院医学研究科修了、博士（医学）。ポスドクとしてシカゴ大学へ留学。新潟大学医学部医動物・免疫学教室助手、講師、准教授を経て現職。趣味：テニス、温泉、サウナ

免疫学研究室の教授

就任にあたり

平成29年4月1日付で医療検査学科免疫学の教授を拝命いたしました。医師を目指して医学部へ入学したものの、学生時代は、勉強よりも、クラブ活動（テニス）やアジア方面への放浪の旅などに熱中し、成績下位10%グループの一員でした。卒業後は、小児科医として臨床医学に携わっておりましたが、大学院で行った研究がきっかけとなり、基礎医学研究の道へ入り、免疫学の研究を行ってきました。肝臓は代謝臓器として知られていますが、よく調べてみますと、一風変わったリンパ球が存在し、「免疫臓器としての肝臓」という観点で研究を行っております。

「はじめそうだと」か「緊張していそうだ」という印象を持たれることが多いのですが、実はそうでもありません。みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。学生のみならず、大歓迎いたしますので、ぜひ研究室に遊びに来てください。

医療検査学科 病理学

教授 高橋 博之



出身：富山県。略歴：富山医科薬科大学（現富山大学）大学院医学系研究科卒、博士（医学）。卒後は富山大学医学部病理学、H22年から北里大学医学部病理学で勤務。趣味は読書。最近の悩みは視力低下と肩こり。特徴は少しあがり症。

病理学教室

就任のごあいさつ

平成29年4月1日より医療検査学科病理学研究室の教授を拝命いたしました。

これまで大学教員、病理医として教育、研究、病理診断に従事して参りました。

北里大学医学部病理学教室に赴任してからは、研究では癌の形態変化と分子病理学的な関係について、接着・転写因子であるβ-カテニンを中心に研究を行ってきました。引き続き病理学の発展、病理診断の質的向上に寄与できるような研究に取り組んで参ります。

また、病理学を通じて病気の基礎知識を学生の皆さんにしっかりと理解してもらえよう、一生懸命教育に取り組むことが最優先課題と考えています。学生さんからの病理学についての気軽な質問を歓迎します。今後とも、宜しくお願ひ致します。

リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻 視覚生理学

教授 神谷 和孝



神戸大学医学部卒、博士（眼科学）。3人兄弟の3番目、趣味は水泳、サイクリング、旅行など、中高時代は地歴部という超地味な部活をやっていた、今でも神社やお寺巡りなど気ままに散策するのが好きです。いつか京都に住んでみたい！

着任のごあいさつ

この度平成29年4月より、新たに北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法学専攻に赴任しました神谷と申します。生まれは埼玉県の草加市になります。せんべいの街として知られているところで、昔はよくつづれないなと思うくらい街中の至るところにせんべい屋さんがあった記憶があります。これまで北里大学医学部眼科学教室に所属して、角膜疾患の診断と治療、屈折矯正手術や角膜移植手術などを行っていました。これまでの経験を活かして、学生の皆さんがより実践に即した眼科医療に貢献できるようにしたいと考えています。本当に暖かく迎え入れていただいた医療衛生学部の先生方には、この場を借りて感謝申し上げます。合わせて微力ながらも今後本学の発展に寄与できればと考えていますので、よろしくお願ひします。

リハビリテーション学科 理学療法学専攻 地域理学療法学

講師 神谷 健太郎



1979年、愛知県刈谷市生まれ。2002年北里大学医療衛生学部卒、学位：博士（医学）。北里大学病院勤務、イタリア Veruno Scientific Institute リサーチフェローを経て着任。内部障害専門理学療法士、心臓リハビリテーション上級指導士、日本心臓管理理学療法学会 副代表。趣味：旅行、ハンモック

理学療法学専攻講師の就任にあたり

私は、本学理学療法学専攻の5期生として卒業後、大学病院勤務および博士課程を経て、このたび、理学療法学専攻の講師を拝命いたしました。

これまでは、大学病院のリハビリテーション室、心臓血管センターおよび集中治療室において勤務をしながら、骨格筋の評価と介入に関する臨床研究を主に行っていました。心疾患や集中治療におけるリハビリテーションは、未だ本邦においては普及しておりませんが、北里大学病院はそのフロントティアとして全国から施設見学や研修希望者が多く訪れています。今後は、大学病院での多職種・多部門との人脈を大切に、本学の特徴であるチーム医療教育を臨床現場で発展させ、本専攻の魅力として外部にアピールできるよう尽力したいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

医療検査学科 微生物学

助教 前花 祥太郎



神奈川県横浜市泉区出身。北里大学医療衛生学部医療検査学科卒、同大学医療系研究科にて博士(医学)を取得。趣味は珈琲、バイク、カレー作り。週末は妻に食事を作っていますが、カレーの確率が高くなりがちなので、他の料理も勉強中です。

微生物学研究室

着任にあたり

平成29年4月1日付で医療検査学科微生物学の助教に着任いたしました。医療衛生学部医療検査学科の1期生として卒業後、民間企業での社会経験を経て、今年の3月に博士課程の学位を取得しました。研究分野はレトロウイルスベクターを用いた細胞治療です。培養細胞を用いた生体反応の制御と治療への発展を目指し、基礎医学的立場から医学研究を進めていきたいと考えています。

今後は、企業での社会経験を生かして、学生の皆さんが卒業後、医療業界で活躍できるように人材育成と、北里大学で「微生物学」をしっかり学ぶように教員として成長していきたいと考えております。研究・教育共に行き届かない部分があると思いますが、何卒、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医療検査学科 血液学

助教 渡邊 真理子



新潟県新発田市出身。北里大学医療衛生学部(旧衛生学部、産業衛生学科)卒業、同大学院修士課程を修了後学内の研究室にて研究生活を送り、論文博士(理学)を取得。北里大学病院血液内科技能職勤務を経て着任。趣味はテニス(現在はお休み中)。猫に遊んでもらい癒しをもらっています。

血液学研究室助教

着任のご挨拶

平成29年2月1日付けで医療検査学科・血液学・助教として着任いたしました。医療衛生学部は卒業学部でもあり、ふたたびこの校舎の空気に触れ、お世話になることはとても感慨深いものがございます。これまで、堀江良一教授とともに分子生物学や病理学的手法を用いた血液腫瘍の病態解析の研究を長年行ってまいりました。さらに、重要課題としている難治がんに対する創薬を目指し、現在学部の垣根を越えた体制で研究を行っています。

学生教育に関しては一年生でありますので、至らぬ点多々あるかと思いますが、微力ながら学部の発展に貢献させていただけますように、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医療工学科 臨床工学専攻 医療安全工学

助教 小川 貴康



茨城県日立市出身。北里大学医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻卒、日本大学医学部附属板橋病院及び北里大学病院での臨床業務を経て臨床工学専攻へ着任。趣味はバイク、カメラ、スポーツ観戦など多趣味すぎて1つに絞れません。

臨床工学専攻の

着任にあたり

平成29年4月1日より臨床工学専攻の助教として着任いたしました。私はこれまで日本大学医学部附属板橋病院および北里大学病院にて臨床工学技士業務全般に渡って臨床業務に従事してまいりました。約10年間の臨床業務の経験を活かし、学生の皆さんには私が病院勤務で学んだ知識や技術を基礎分野と臨床分野の懸け橋になるような形で、楽しみながら身に付けてもらえるようにサポートしていきたいと考えております。また自分自身も教育と研究を通じて成長できるように一生懸命に頑張りたいと考えております。実習や授業では至らない点が多々あるかと思いますが、ご指摘いただけると幸いです。今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻

助教 岩田 遥



茅ヶ崎市出身。北里大学医療衛生学部卒、同大学院医療系研究科修士課程修了後(医科学)、同博士課程へ進学。北里大学病院をはじめ、総合病院や個人病院においても視能訓練士として勤務。趣味はスキー。シーズン中の休みは各地のゲレンデにいます。

視覚機能療法学専攻

助教着任のごあいさつ

平成29年4月1日付けで医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法学専攻 助教を拝命いたしました。私はこれまで、近赤外分光法の眼科領域への応用や、両眼視機能について研究を行ってきました。近年、タブレット端末やVR機器など、視覚に関する機器の発展は目覚ましく、その更なる応用法や人体への影響についての詳細な研究が求められています。その中で、視覚のエキスパートである視能訓練士の需要は益々増加するものと考えられます。多様化する需要に対応することのできる人材を育てるために、私はこれまでの経験を活かし、一つでも多くの知識や技術をしっかりと伝えることができるよう努めます。これから何卒よろしくお願い申し上げます。



●わたしが選ぶ この店この一品

事務室 学生課
野崎 誉也

店名：Cave de Azumaya
(カーブ・ド・アズマヤ)
相模原市南区相模大野 5-27-12
TEL.042-742-3357



平成の角打ち酒屋



みなさま「角打ち」という言葉はご存じでしょうか？「角打ち」とは、お酒を販売する酒屋の中で立ち呑みを行うことを言います。そんな粋な飲み方ができる酒屋が相模大野駅北口から5分ほどの路地にあります。今回私がご紹介する「Cave de Azumaya (カーブ・ド・アズマヤ)」は、現在では珍しい角打ちができる酒屋です。店内にあるカウンターとテーブル席では充実したフードメニューを肴に、ビール中ジョッキ、日替わりのワインや日本酒、焼酎などを300円で注文でき、購入したボトルも原価にグラス代の300円を支払えばその場で飲むこともできます。10時から23時まで営業しているため、仕事終わりのほかに飲み会前の0次会や飲み足りない時の2次会にもピッタリです。



河村先生のお国自慢!!

●北海道・札幌編

リハビリテーション学科
作業療法専攻
助教 河村 晃依



大倉山ジャンプ競技場から見た札幌の夜景 白樺の森をスノーシューで歩く

「食」と「自然」を楽しんで

5月下旬、ライラックの花香の頃に訪れる「リラ冷え」を過ぎると、札幌にほの暖かい季節が訪れます。晴れた日の札幌市民の定番は、大通公園のベンチで『さえら』のたらばがにサンドと甘〜い焼きとうきびを頬張り、デザートに『きのとや』の極上牛乳ソフトクリームを楽しみます。思わず「なまらうまい!」と叫んでしまいます。

食後の観光には『大倉山ジャンプ競技場』がオススメ。足の竦むようなラージヒルの頂上に立ち、気分はまるでジャンプ選手! 見下ろす遠きK点と遙か地平線は、一見の価値あります。また、少し足を延ばしますが、彫刻家イサム・ノグチが手掛けた『モエレ沼公園』は、一生に一度は訪れたい(河村評)美しき公園です。季節の風景と一体化する「ガラスのピラミッド」、大地の彫刻と言われ、角度によって趣の異なる不思議な「プレイマウンテン」等、ランドスケープアートを満喫できます。

冬の札幌を訪れる方は、是非スノーシューに挑戦を! 白樺の森の中、フカフカの新雪を歩く気分は最高です(ガイドツアーもあります)。是非、私の大好きな故郷・札幌を訪れてくださいね。



モエレ沼公園「プレイマウンテン」



モエレ沼公園「ガラスのピラミッド」

● 学生生活紹介 懇和会

リハビリテーション学科
理学療法専攻
地域理学療法
講師 横山 美佐子



「ディズニーで学ぼう」



1983年4月、私が理学療法士の学生となった年に東京ディズニーランドは開園しました。そのため、理学療法士としての私の人生は、東京ディズニーリゾートと共に常に未完成で成長しながら歩んでいます。

さて、私は、「ディズニーで学ぼう」という同じテーマで、11年間懇和会を開催させていただいています。もちろん、ショーやアトラクションを楽しみながら学生と教員の親睦を図ることはその目的の一つですが、真の目的は、そこで展開されるスタッフ（キャスト）の行動規準とディズニー哲学を学ぶことにあります。

ディズニーのキャストには、①安全、②礼儀正しさ、③ショー、④効率の4つの行動規準があり、どれも重要なことなのですが順番を間違えてはいけないそうです。医療の場合は、③が医療提供となるのでしょうか。そして、様々な場面で「人生」という壮大なテーマを考えることができる仕掛けがあるのです。本当ですよ。

そんなことを教えてくれる東京ディズニーリゾートに今年度もまた学生とともに学びに行き、お互いの「夢」を語ろうと思います。



● お薦めしたい この1冊この1枚この1本

基礎医学部門
病態生化学
教授 市川 尊文



著書名：夢みるちから
スーパー歌舞伎という未来
著 者：市川猿之助・横内謙介
出版社：春秋社 278ページ

感動が生み出すもの～演劇という夢～

“スーパー歌舞伎”を知っていますか？ブリタニカ国際大百科事典によると、「伝統的な技法を使いながら、最新の舞台機構や照明設備などを駆使して、歌舞伎を現代的な演劇として見直す試み」とあります。この本は、創始者である3代目市川猿之助（現・2代目猿翁）と劇作家・横内謙介の対談編と“スーパー歌舞伎”第7作目「新・三国志」の脚本編で構成されています。私は市川姓ですが、伝統的な歌舞伎とは縁がなく、また、当然のことながら梨園とも無縁です（笑）。このような私が“スーパー歌舞伎”に興味を抱く契機となったのは、横内謙介の存在でした。彼は、高校の同期生で、当時、無名であった厚木高校演劇部を全国レベルに引き上げた功労者です。卒業後、同窓生を中心に「善人会議」という小劇団を旗揚げし、「扉座」に改称した現在も活躍中です。そのような彼が“スーパー歌舞伎”の脚本を手がけたことを知り、この本を手に入れました。小劇場で培われた彼の持ち味であるスピード、スペクタクル、ストーリーの3つの要素が、猿之助の演出により見事に表現される情景が込められており、学生時代に通った下北沢のザ・スズナリ、本多劇場、更には新宿・花園神社境内の紅テントでの観劇が懐かしく思い出されます。皆さんも、劇場に足を運んで、演劇・舞台を楽しんでみませんか。





医療工学科
診療放射線技術科学専攻
助教
渡邊 祐介

シラノ・ド・ベルジュ

Cyrano de Bergerac

「趣味はなんですか?」初めて会う人との会話では定番のフレーズですが、42年間いろいろなことをしてきましたので、答えが一つに定まっています。スノーボード、油絵、旅行、読書、車……。時には、映画鑑賞と答える時もあります。今回は、1本の映画をご紹介させて頂こうと思います。タイトルにもある「シラノ・ド・ベルジュラック」という作品です。大学時代

に初めて観てから、これまでに50回以上は観たでしょうか。
原作は、フランスの劇作家エドモン・ロスタン(Edmond Rostand)の有名な戯曲です。数多く映像化されていますが、おすすめしたいのは、ジェラルド・ダールデュール(Gérard Philipe)が主演を務めたものです(1990)。ダールデュールが演じる主人公シラノがかっこいい。17世紀のフランス、詩人で剣客、豊かな才能と強い正義感を持ちながら、大きい鼻という自分の姿にコンプレックスを持つ男が生涯ひとつの恋を貫いたストーリーです。人は見た目が18歳じゃないといいますが本当にそうでしょうか? シラノの心意気を感じてみてください。



発売元:アイ・ヴィー・シー
価格:Blu-ray 2,500円



ドイツの思い出:FKK

32歳くらいの時の写真。上司のLissiと

健康科学科
精神保健学

教授 田ヶ谷 浩邦



留学先のMPI für Psychiatry旧館

5月から7月の天気の良い日に、München(現地ではミュンヘンと発音)のEnglischer Gartenで散歩を楽しんでいると、多数の老若男女が一糸まとわず日光浴したり、スポーツを楽しんでいるシーンに出くわしてびっくりします。同時期にドイツ国内を旅していると、道端や線路端に一糸まとわないおっさんが突っ立っていてびっくりすることがあります。

ドイツではFreikörperkultur (FKK, エフ・カー・カー。英語に訳すとfree body culture)という「自然を全裸で享受する」社会活動があり、一般市民の間で実践されているのです。FKKは「性的な意味を持たない全裸は何らタブーではない」という精神に裏付けられています。この精神は深く浸透していて、ドイツのサウナ風呂は男女混浴で、全く裸を隠そうとしません。

小生は、1995年から1998年までMünchenに留学していました。Münchenの冬は長く、曇りがちで11月初めには雪が降り、3月末まで溶けません。日も短く、冬至の頃の日の出は8:30過ぎ、日没は15時過ぎです。5月から7月にかけて晴天が多く、日が長く、乾燥した春と夏が一気にやってきます。長い冬の後の開放感はたまりません。Englischer GartenでFKKの仲間入りをする勇気はありませんでしたが、シェアしていたflatは最上階のpenthouseでしたので、flat matesが不在のときには、よく全裸で日光浴をしました。これが最高に気持ちいいのです!!生まれてから一度も日焼けしたことのない部分がヒリヒリしましたが、日本に帰ってくるころには、文字通り全身小麦色になっておりました。

小生は、1995年から1998年までMünchenに留学していました。Münchenの冬は長く、曇りがちで11月初めには雪が降り、3月末まで溶けません。日も短く、冬至の頃の日の出は8:30過ぎ、日没は15時過ぎです。5月から7月にかけて晴天が多く、日が長く、乾燥した春と夏が一気にやってきます。長い冬の後の開放感はたまりません。Englischer GartenでFKKの仲間入りをする勇気はありませんでしたが、シェアしていたflatは最上階のpenthouseでしたので、flat matesが不在のときには、よく全裸で日光浴をしました。これが最高に気持ちいいのです!!生まれてから一度も日焼けしたことのない部分がヒリヒリしましたが、日本に帰ってくるころには、文字通り全身小麦色になっておりました。



MPI für Psychiatry近くのLuitpoldpark

編集後記

今年は暖冬でしたが、編集後記を書いている本日、新入生をお迎えするかのようには大学の校は満開です。AHS20号をお届けします。編集をしていると我々医療衛生学部の教員、職員は皆様、多趣味で大変驚きます。また研究もそれぞれが粹にとらわれず、交通シミュレーション、研究等実にユニークで、かつ明日からの生活に大変役立つものばかりではないでしょうか。

また新たに仲間に入ってくださった先生方も皆様それぞれ素晴らしい紹介文で、これらが大変楽しみです。個人的には相模大野のカープ・ド・アズマヤで酒を飲みたいものです。酒好きの皆さま、是非一緒にいかがですか。

編集委員会

委員長 石川 均
委員 深瀬 史子
黒崎 裕
清水 悦
高橋 香
藤村 佐
阿部 英
川島 子
野崎 清
金 佳